

平成27年度 第3回 学校協議会報告

平成28年2月23日 開催

出席者	協議委員	和田	嶋田	江田	山本	(敬称略)
	本校職員	校長	教頭	梅本	高橋	中村

学校教育自己診断（保護者）の結果を受けて

- ・授業参観の情報が伝わりにくく、また参加者がきわめて少ないが、参観の期間を広く設定してその期間ではいつでも自由に授業を見ることができるような「フリー参観」の形態を検討してみてはどうか。
- ・否定感が急増した項目があるが、1年でこれだけの変化があるのは、何か外的要因が働いた結果なのではないか。たとえば、2年後にコース制に移行することが発表されたが、それによって普通科総合選択制に在籍していることに対して不安を感じた結果の顕れなのではなかろうか。
- ・進路が多様化している中で個々のニーズに応えることは難しいが、家庭での会話を促すような資料を提供するなどの方策を模索してみることで、不安感や否定感が薄まるのかもしれない。